学校番号	3025

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	（学）世界史基礎	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	「ニューステージ世界史詳覧」　（浜島書店） 「山川一問一答世界史」（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

昨年度の「歴史総合」と比べると、世界の歴史について多くの知識と事柄に対する深く広い理解が求められている。「暗記モノ」と呼ばれる世界史であるが、難解な現象のつながりを理解した時の爽快感は病みつきになることを保証する。来年の「世界史探究」に向けて授業を通じて「世界史のストーリー」を楽しみ、学んでほしい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重すること大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力や、考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論する力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	世界史へのまなざし	人類の誕生を地球46億年の歴史の中に位置づけて考察する 自然環境と人類の関わりの概要を理解する 人類の進化の過程の概要を理解する	a:自然環境と人類の関わりおよび人類の進化の過程の概要を理解している。 b:統計資料をもとに地球環境が直面している危機およびその克服へ向けた取り組みを多面的・多角的に考察し表現している。 c: 自然環境と人類の進化について、興味・関心や疑問、追究したいことを見出して、学習に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業態度 提出課題

	第Ⅰ部　諸地域の歴史的特質の形成	第1章　文明の成立と古代文明の特質 第2章　中央ユーラシアと東アジア世界 第3章　南アジア世界と東南アジア世界の展開	a:　都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解している。 ・アジア諸地域の風土に適合した生活、交流が古くから営まれていたことを理解している。 b:　資料をもとに、自然環境と生活文化との関連性などを多面的・多角的に考察し表現している。 ・当時の社会の特徴や世界史に与えた影響、政治や宗教が社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現している。 c:興味・関心や疑問、追究したいことを見出して、学習に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業態度 提出課題
1学期	第Ⅰ部　諸地域の歴史的特質の形成	第4章　西アジア世界と地中海周辺の国家形成 第５章　イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	a:　地中海周辺における国家の形成、宗教について、それまでの時代や他の地域との違いや、時期ごとの変化をふまえたうえで理解している。また周辺諸地域へ与えた影響を理解している。 ・イスラーム教の成立と拡大について理解している。またヨーロッパがどのように独自の世界を形成したのか理解している。 ・資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けている。 b:　当時の社会の特徴や世界の歴史に与えた影響、政治や支配のあり方、宗教が社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現している。 ・資料をもとに、イスラーム教の成立が周辺地域に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。また、西ヨーロッパに成立した封建社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 c:興味・関心や疑問、追究したいことを見出して、学習に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業態度 提出課題

2学期	第Ⅱ部　諸地域の交流・再編	第6章　イスラーム教の伝播と西アジアの動向 第7章　ヨーロッパ世界の変容と展開 第8章　東アジア世界の展開とモンゴル帝国 第9章　大交易・大交流の時代	a:各地でどのようにイスラーム化が進んだのかを理解している。また政治的統一は失われたが、経済・文化の交流を通じてイスラーム教徒（ムスリム）の連帯が維持されたことを理解している。 ・中世のヨーロッパにおける、商業の発達、中央主権国家に向けた動きを理解している。 ・東アジア内の交流と再編、「世界の一体化」が始まった時期のアジア、ヨーロッパの海洋進出について、その動機や背景、経緯を理解している。 b:　諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の繋がりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 c:興味・関心や疑問、追究したいことを見出して、学習に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業態度 提出課題
3学期	第Ⅱ部　諸地域の交流・再編	第 10 章　アジアの諸帝国の繁栄 第 11 章　近世ヨーロッパ世界の動向	a:　アジアの諸帝国がどのように支配を確立し、統治をおこなっていたのか、周辺諸国との関係について理解している。 ・ヨーロッパにおける文化、宗教、中央集権国家成立の特徴、影響などを理解している。 b:　アジアの諸帝国の特徴や関係性を多面的・多角的に考察し表現している。 ・ヨーロッパにおける文化、宗教、中央集権国家成立の要因を各種資料をもとに、多面的・多角的に考察し表現している。 c:興味・関心や疑問、追究したいことを見出して、学習に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業態度 提出課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度